

私の写生地

身近な信州路を行く

会員 小山 賢一

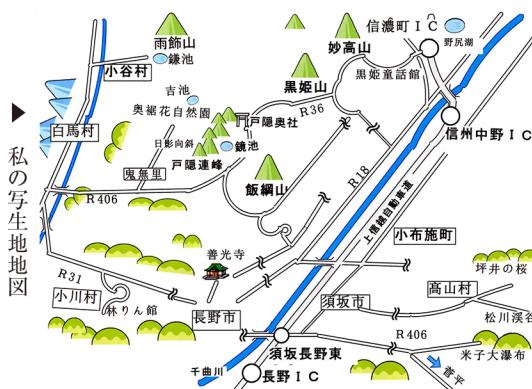
私の住む須坂市からは、妙高、斑尾、黒姫、戸隠、飯綱の北信五岳が望め、遠くには北アルプスの雄大な山々が見えます。長野は県名を冠した名称ではなく、「信州」というブ

ランドに思い入れというか、誇りを持つた地域とも言えます。その訳は別として、多くの画家・観光客などに訪れて頂いています。その信州人の私は50代から趣味としての絵画を始めた頃、美術雑誌の樋口先生や成田先生の風景画に魅せられ、身近な風景を描いています。今回の原稿は甚だ身分違いですが、自宅から車で1時間～2時間の地を紹介させて頂

■須坂市内からR406を菅平方面に向かい、途中林道米子不動線を上がっていくと米子大瀑布があります。日本の滝百選に指定され、昨年まで町指定の「真田の滝」。

■ 高山村は温泉と松川渓谷の紅葉が有名ですが、村内に点在する五大桜も人気です。芽吹きの山と菜の花とが調和して、桜を描く画家が訪れます。

■ 小布施町からR18で信濃町へ。野尻湖手前信濃IC出口の道の駅。こ



私の写生地地図

の駐車場からは雪の妙高山が描けます。妙高山、黒姫山の方向へ上がつて行くと黒姫スノーパーク内に黒姫童話館童話の森ギャラリーがあります。地元信濃町出身の故松木重雄先生所蔵作品展が併設されています。隣接して「いわさきちひる黒姫山荘」もあります。冬季は近くの高台のホテル前から冬の妙高が描けます。ここの妙高は新潟（いもり池）か



▲ 「坪井のしだれ桜（高山村）



▲ 「米子大瀑布（須坂市）」



▲「戸隠冬の参道」

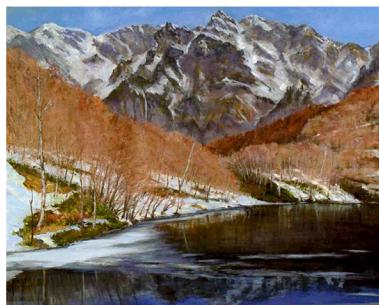


▲ 「妙高芽吹きの頃」

■黒姫を後にしてR36で戸隠高原まで行くことができます。戸隠奥社は杉林の参道、野鳥の森公園や水芭蕉群生地もあります。その参道の雪景色も好きです。

ら見るよりも絵になると思います。
この場所は夏には一面に咲くコスモス園となります。

さらに長野市方向へ進むと鏡池入り口があります。冬の鏡池までの道は閉鎖されます。私はスノーシューを履いて一人寂しく描いています。今年は6月初旬まで戸隠連峰には残雪、鏡池の一部には氷結も見ることができました。



▲ 「戸隠鏡池」

■戸隠の集落から右折すると鬼無里へ行きます。戸隠西岳が右に見え、眼下に鬼無里と北アルプスの大展望の大望峰。峠から下り細い道ですが、左右の道を入っていくと昔ながらの民家が存在しています。R406に入り白馬方面に向かい途中右折します。戸隠連峰の反対側に奥裾花渓谷・自然園があります。水芭蕉の群生林で有名ですが、私はいちばん奥の「吉池」がお気に入りです。ブナやトチの木の原生林の中にモリアオ



▲ 「鬼無里日影向斜」

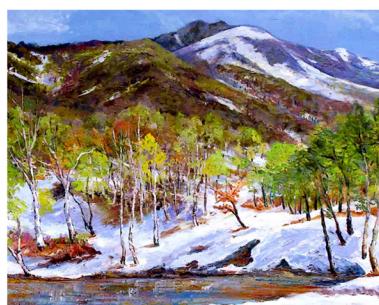
渓谷の道路は行きと帰りは裾花川を挟んで反対車線を通行します。帰りの途中には日影向斜があります。古代に海からの隆起で現れた傾斜面と裾花川が魅力です。



▲ 「吉池の春（鬼無里）」

ガエルやクロサンショウウオが棲む吉池は幻想的な風景です。

■渓谷道を降りてR406に戻り白馬方面に向かいます。峠の白沢洞門を過ぎると白馬、唐松、五竜、鹿島槍の大展望が現れます。さらに白馬方面に下ると有名な「白馬大出」に到着します。白馬村から大糸線沿いには白馬三山と松川の風景、青鬼集落等々多くの画家が描いています。私はさらに進んで小谷村から右折した雨飾山登山道入り口の鎌池が魅力的です。しかし5月の連休が過ぎても雪のため通行止めの年もあります。



▲ 「小谷村鎌池の春」

■溪谷道を降りてR406に戻り白馬方面に向かいます。峠の白沢洞門を過ぎると白馬、唐松、五竜、鹿島槍の大展望が現れます。さらに白馬方面に下ると有名な「白馬大出」に到着します。白馬村から大糸線沿いには白馬三山と松川の風景、青鬼集落等々多くの画家が描いています。私はさらに進んで小谷村から右折した雨飾山登山道入り口の鎌池が魅力的です。しかし5月の連休が過ぎても雪のため通行止めの年もあります。

■白馬村に戻り、長野五輪に開通したオリンピック道路（R31）で長野市方面へ。小川村に入り、途中「林りん館」入り口の看板見て右折する。細い村落の曲りくねった道を行くと、立屋地籍があります。広い展望駐車から、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、五

私の写生地として身近な北信州を一周してきました。

快晴の朝、車で長野市内に向かう通勤途中に見るアルプスの雪景色。そのまま写生地直行は未だ出来ない土曜画家です。特に早春にはさまざまな緑や、赤、茶、黄色の芽生え。リンゴ、桃、杏、菜の花が時期を追うように咲きます。「絵画のような風景」と言いますが、とんでもない。そんな風景には写真や絵画では到底勝てないと思っています。



▲ 「アルプスと山村（小川村）」